



11月うぶやま天文台イベント

「たいへん深い」部分月食を見よう



陽が沈むべ落としになり、晩秋の気配が感じられるうぶやまの高原の夜空は、澄み渡り絶好のスターウォッチングのシーズンです。天空が広がり、阿蘇、久住、祖母山系の山々を一望できる一覽三山の台から見える山々には、もうすぐ冬の便りを告げる初冠雪が見られることでしょう。

今回は、11月19日の「たいへん深い」部分月食を観察します。19日の夕方から宵にかけて、全国で部分月食が見られます。月食は、月が地球の影に入ることによって起こります。地球の影（本影）によって全て隠される「皆既月食」と、一部が隠される「部分月食」があります。今回は部分月食ですが、月の大部分が影の中に入り込みます。部分月食の始まりは、16時18分頃です。ただし、北海道や東北地方の北部を除く地域では、月食の始まりは月が地平線の下にあって見られず、月が欠けた状態で空に昇ってくる月出帯食（げつしゅつたいしょく）となります。

今回の部分月食は、特に前半で月の高度が低いので、東の空が開けた場所で観察しましょう。月が最も欠けて見える、食の最大は18時02分頃です。皆既月食の場合には、完全に影の中に入った月が赤黒い色（赤銅色とも呼ばれる）になって見えることが多いのですが、一方で、多くの部分月食では影の部分の色は暗いだけではっきりしません。ただ、今回の部分月食では月の大部分が影に入りますので、食の最大の頃には影の部分が色づいて見えるかもしれません。

月はその後、夜空を昇りながら地球の影から出てきます。19時47分頃には月が影から離れ、部分月食が終わります。

期 日：	令和3年11月19日（金）
時 間：	16時30分～21時30分（月が昇ってくるのは17時頃）
場 所：	うぶやま天文台 （熊本県阿蘇郡産山村大字大利585 ファームビレッジ産山内）
観察対象：	部分月食（詳細は次ページに掲載）
持参物：	防寒着（天文台周辺は非常に冷えます）
料 金：	部分月食観察のみの方は全員無料（天文台入館がないため）

※密を避ける観点から、予約状況によってはお断りさせていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

天候不良などで実施できない場合は、中止します。その場合は、再度お知らせ端末にて連絡します。

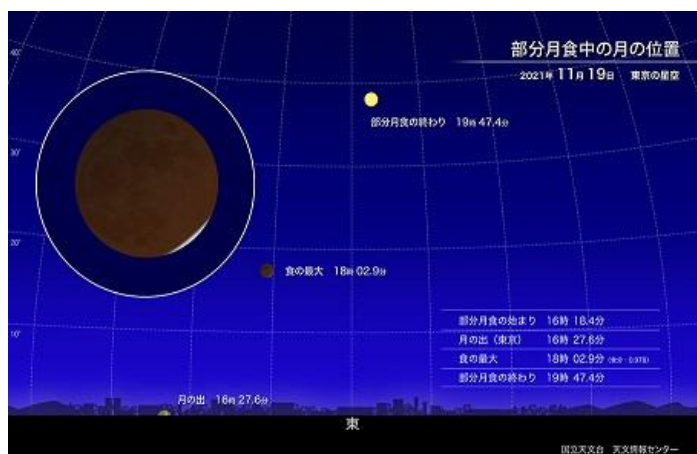
上記につきまして産山村外の方は、産山村教育委員会（0967-25-2214）までご連絡下さい。

【ご来館予定の皆様へ】

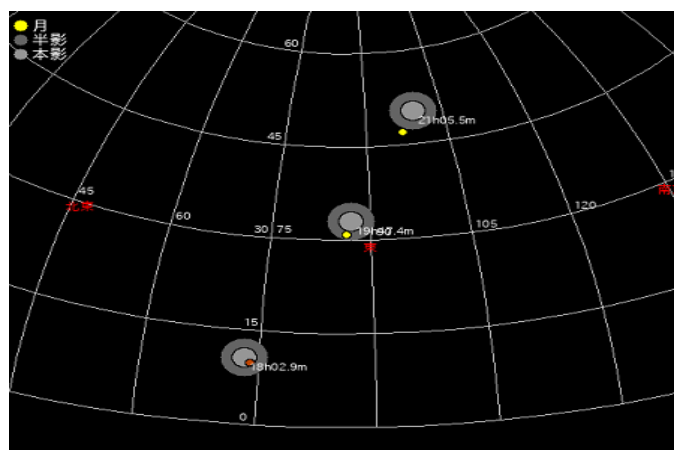
新型コロナウイルス感染症感染防止のため、ご来館前及びご来館の際は、下記の事項をお守りいただきますようお願いいたします。

- 新型コロナウイルス感染者との濃厚接触が判明している場合や、その恐れがある場合は、来館できません。
- 咳や発熱などの症状がある場合は、来館できません。
- マスクや手洗いなど、各自で十分な防護策をお取りください。

今回の観察対象



部分月食の始まりから終わり（東京）



産山村での部分月食の様子

※部分月食の様子は東京と熊本の差はあまりありませんので、東京のデータを基準に考えても良いでしょう。

部分月食の様子	時間帯	食分	高度
部分月食の始まり	月は地平線の下で見えない		
月の出	17時3分（欠けながら昇ってくる） （月出帯食）	0.571	
部分月食の最大食	18時02分頃	0.978	30.9度
部分月食の終わり	19時47分頃		47.0度
半影食の終わり	21時05分頃		

月が地球の影の中に入り込む程度（影で覆われる月の直径の割合）を「食分」という数値で表します。その値が大きいほど影の中に月が深く入り込み、1.0以上で皆既月食となります。今回の月食の最大食分は0.978です。これは月の直径の97.8%まで影に入り込むことを意味し、部分月食としてはたいへん大きな値です。食分が大きいことをしばしば「深い」と表現し、今回のような月食は「たいへん深い月食」といいます。